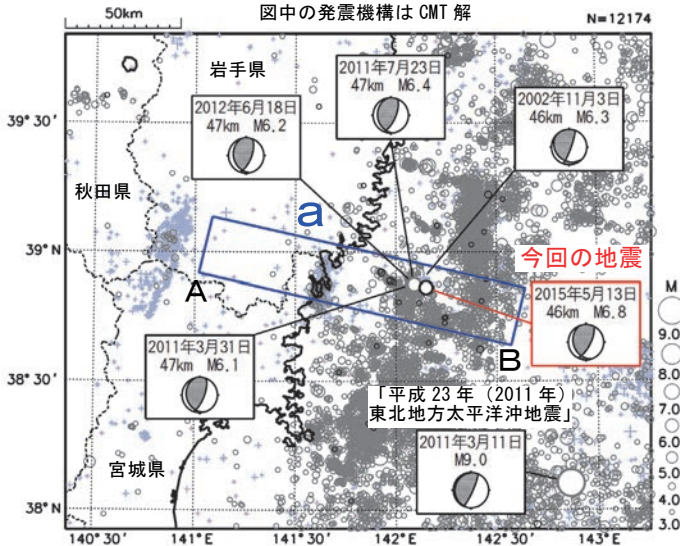


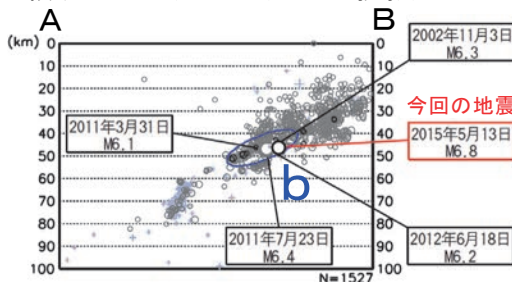
5 月 13 日 宮城県沖の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 5 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発後に発生した地震を薄い○
2015 年 5 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解

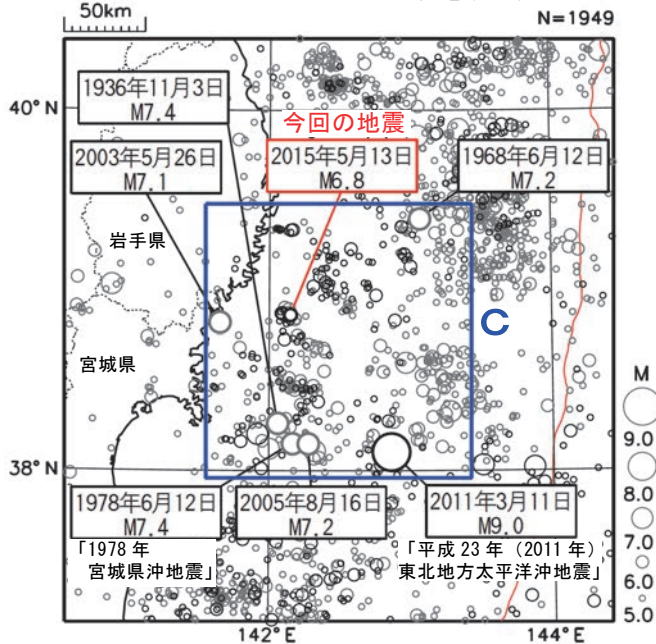


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 5 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

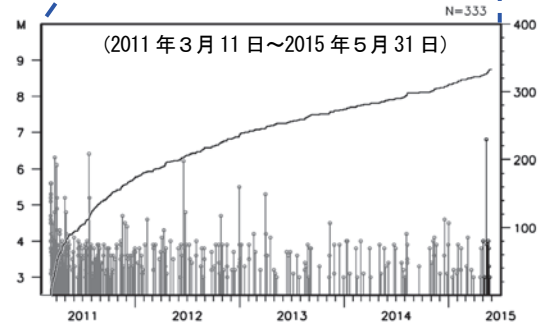
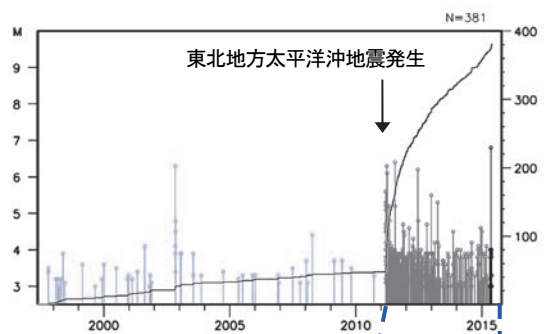


2015 年 5 月 13 日 06 時 12 分に宮城県沖の深さ 46km で M6.8 の地震 (最大震度 5 強) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、岩手県で住家一部損壊 2 棟などの被害があった。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2002 年 11 月 3 日に M6.3 の地震 (最大震度 5 弱) が発生したほかは、M4.0 前後の地震が時々発生する程度の活動状況であったが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M6.0 以上の地震が 5 回発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前から M7.0 を超える地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

